TOSHIBA
Leading Innovation >>>

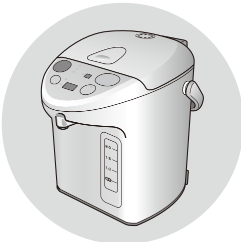
東芝電気保温ポット 家庭用

取扱説明書





形　名
[2.2L タイプ]
PLK-22GE



[3.0L タイプ]
PLK-30GE



保証書付
保証書はこの取扱説明書の裏表紙についておりますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。



- このたびは東芝電気保温ポットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意　必ずお守りください

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷＊2を負うことが想定されるか、または物的損害＊3の発生が想定されること」を示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	説明
禁止	⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
注意	△は、注意を示します。具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

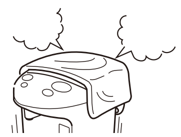
異常・故障時にはすぐに使用を中止する（使用を中止する）
火災・感電・けがの原因になります。
すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターに点検・修理を依頼してください。
《異常・故障例》
- ご使用中コードや電源プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったりコゲくさいにおいがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 容器から水がもれる。

分解・修理・改造をしない（分解禁止）
火災・感電・けがの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

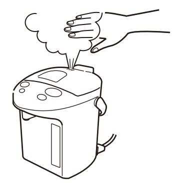
ぬれた手で電源プラグ・マグネット式プラグを抜き差ししない（ぬれ手禁止）
感電やけがの原因になります。

水以外のものを沸かさない（禁止）
お茶の葉・牛乳・酒・備長炭・ティーバッグ・レトルト食品などは沸きあがるときにふき出してやけどをする原因になります。

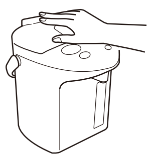
蒸気口をふきんなどでふさがない（禁止）
湯がふきこぼれ、やけどやふたの変形、故障の原因になります。



蒸気口に手を触れない（接触禁止）
やけどをすることがあります。
特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。



ふたを確実に閉める（確実に閉める）
倒れたときに湯が流れ出て、やけどをする原因になります。



ふたを勢いよく閉めない（禁止）
湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。

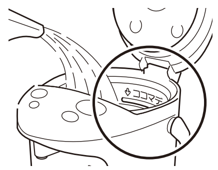


電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、電源プラグを抜き、乾いた布でふき取る（ほこりを取る）
火災の原因になります。

氷を入れて保冷用に使わない（禁止）
結露が生じ、感電・故障の原因になります。

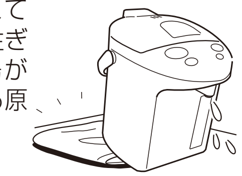
（警告つづき）

満水目盛以上の水を入れない（禁止）
湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。



コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない（無理な扱い禁止）
コードが破損し、火災・感電の原因になります。

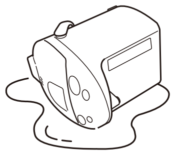
傾けない（禁止）
出湯キーがロックされていても、本体が傾くと注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。



ゆすったり、抱きかかえたり、強い振動（特に上下の振動）や衝撃を加えない（禁止）
出湯キーがロックされていても、本体をゆすったり、強い振動や衝撃を加えると注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。



ポットを転倒させない（禁止）
出湯キーがロックされていても、本体が転倒すると、注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

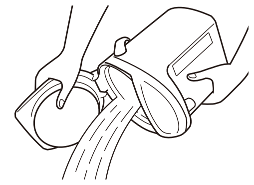


電源プラグは根元まで確実に差し込む（根元まで差し込む）
感電・ショート・発火の原因になります。

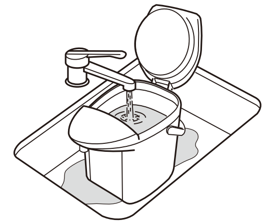
コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない（使用禁止）
感電・ショート・発火の原因になります。

マグネット式プラグをなめさせない
乳幼児が誤ってなめないよう注意する（禁止）
感電やけがの原因になります。

ふたを付けたまま残り湯などを捨てない（禁止）
ふたがはずれたときに湯がかかってやけどをする原因になります。



ふたや本体は水につけたり、水をかけたりしない（水ぬれ禁止）
丸洗いしたり、流し台などで底面をぬらしたり、底面がぬれたまま本体をさかさにしたりしない
コードセットはぬらさない
流し台のシンクに置いて、直接蛇口から給水しない
ショート・感電・故障の原因になります。



ふたを持って移動しない（禁止）
注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出たり、本体がはずれ落ちて、やけどやけがをする原因になります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない（禁止）
やけど・感電・けがの原因になります。



電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う（交流100Vのコンセントを単独で使う）
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと異常発熱して発火したり、感電の原因になります。

マグネット式プラグの先端に、ピンなど金属片やごみを付着させない（禁止）
感電・ショート・発火の原因になります。

（つづく）

⚠注意

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。
プラグを抜く

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない
火災の原因になります。
禁　止

湯沸かし中や保温に切り換わり直後に湯を注いだり、ふたを開けたりしない
蒸気や湯の飛び散りで、やけどの原因になります。
禁　止

出湯中に本体を回さない
湯が飛び散り、やけどをする原因になります。
禁　止

本体を持ち運ぶときは、ふた開閉レバーに触れない
ふたが開いてけがややけどをすることがあります。
禁　止

専用のコードセット以外は使わない
コードセットは他の機器に転用しない
故障・発火の原因になります。
禁　止

荷重強度が不足しているスライド式テーブルでは使わない
スライド式テーブルが破損してポットが落下し、けがややけどの原因になります。
禁　止

荷重強度は、2.2L タイプで 7 kg以上、3.0L タイプで 8 kg以上。

電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。
プラグを持って抜く



他の電気機器やコンセントに差した電源プラグに蒸気を当てない
感電・ショート・発火の原因になります。キッチン用収納棚などをお使いのときは特にご注意ください。
禁　止

ふたを開けるときや、はずすときに出る蒸気に触れない
やけどの原因になります。
接触禁止

壁や家具の近くで使わない
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。
禁　止

使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
やけどの原因になります。
接触禁止

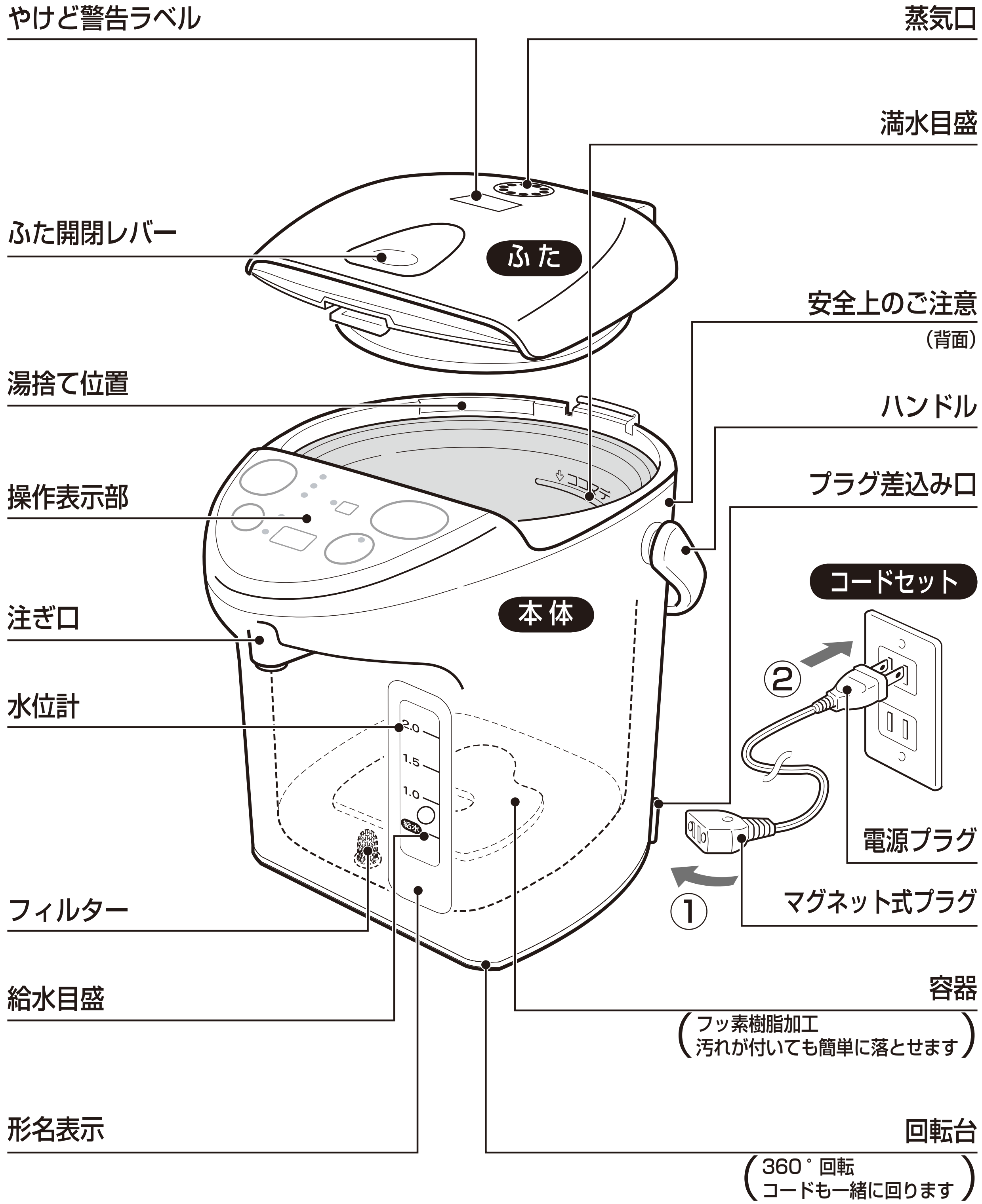
お手入れは冷えてから行う
高温部に触れると、やけどの原因になります。
冷えてから行う

ふたパッキンが白く変色したら交換する
傾けたり、倒れたりしたときに湯が流れ出て、やけどをする原因になります。
交換する

お願い

- ラジオなどの近くで使わないでください。　ラジオ、テレビなどへの影響のないところまで離して使ってください。
雑音などが入るおそれがあります。
- 火気の近くや直射日光の当たる場所で使わないでください。
故障や変形・変色の原因になります。
- 操作表示部側から湯を捨てないでください。
操作表示部に水がかかると故障の原因になります。
- 残り湯は必ず捨ててください。　放置すると腐食や変色の原因になります。また、凍結するおそれのある場所に放置すると、凍結による故障の原因になります。
- 湯を捨てるときは注ぎ口に触れないでください。
- キッチン用収納棚などの上で湯沸かしをする場合は、蒸気が天井部分に当たらないように注意してください。
変形・変色の原因になります。
- 熱に弱いテーブルや敷物の上では使わないでください。
変形・変色の原因になります。
- 本体を引きずって移動しないでください。
テーブルなどにキズがつくおそれがあります。
- 空だきしないでください。
空だきを繰り返すとフッ素樹脂の変色やハガレ、故障の原因になります。

各部のなまえ



（つづく）

操作表示部 キーの近くに点字が表示してあります。

取扱説明書でのランプの表しかた

消灯のとき	点灯のとき	点滅のとき
○	●	●

保温表示ランプ
選択した温度「98」「90」「80」が点灯します。

沸とう/カルキ抜きランプ
沸とうと再沸とうで点灯します。
カルキ抜きコースは点滅します。

選択/クエン酸洗浄キー
保温温度と蒸気カットを選びます。3秒以上押すとクエン酸洗浄を開始します。
（13ページ）

再沸とう/タイマー カルキ抜きキー
3秒以上押すとカルキ抜きコースで沸とうします。

タイマーランプ

蒸気カットランプ
蒸気カットコースを選択すると点灯します。

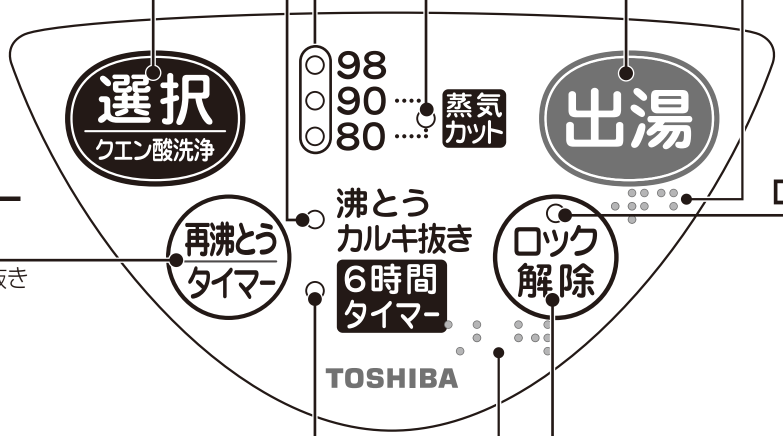
出湯キー

点字：デル

ロック解除ランプ

ロック解除キー

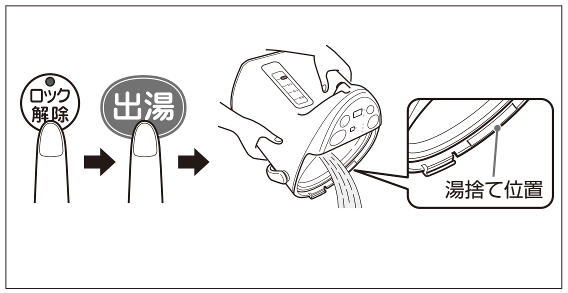
点字：カイジョ



初めてお使いになるとき（長期間使わなかったとき）

以下の手順にしたがって、容器内をお手入れしてからお使いください。

1 湯を沸かす（7 ページ参照）
2 約半量の湯を注ぎ口から出湯する（8 ページ参照）
3「お使いにならないとき」の手順にしたがってふたをはずして湯捨て位置から残り湯を捨てる
（8 ページ参照）



湯を沸かす

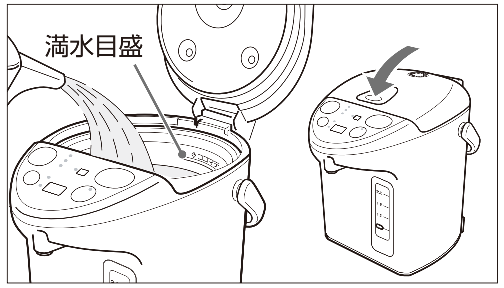
1 ふたを開ける

●ふた開閉レバーの「押す」を押して指をかけ、持ち上げます。



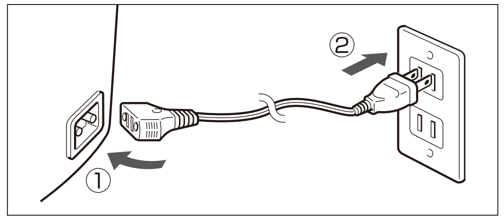
2 水を入れ、ふたを閉める

● 水はやかんなどで入れてください。
水道水の蛇口から直接入れないでください。
水があふれるとショート、感電の原因になります。
● 満水目盛（ココマデ）以上水を入れないでください。
湯がふきこぼれ、やけどをする原因になります。
● 熱湯を入れると空だき防止機能がはたらくことがあります。
● ふたを閉めるときはパチンと音がするまで確実にふたを押してください。



3 コードセットを接続する

●マグネット式プラグにピンなど金属片やごみが付着していないことを確認してから接続してください。



4 保温選択温度を確認する

●コードセットを接続すると保温温度は「90」が自動的に選択されます。
・ 保温温度を変更する場合や蒸気カットを選ぶ場合は 10 ページの保温温度の設定を参照してください。
▶ 沸とうランプと保温ランプが点灯し湯沸かしを開始
▶ 沸きあがると、沸とうランプが消灯する。



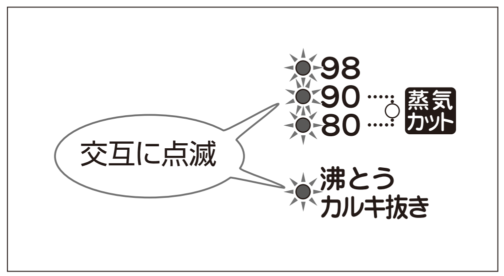
・沸きあがるまで　2.2L タイプ：約 19 分
　　　　　　　　　3.0L タイプ：約 25 分

空だき防止について

過熱による故障を防ぐために、空だきの状態（例えば水を入れずに通電）を検知すると、下記の表示でお知らせしてヒーターへの通電を止めます。
「98」「90」「80」保温ランプと沸とうカルキ抜きランプが交互に点滅します。

→水を入れて（再沸とう/タイマー）を押してください。

・ 空だきを繰り返すとフッ素樹脂の変色やハガレ、故障の原因になります。



注ぐ / お使いにならないとき

沸とう直後は湯が出にくかったり、湯が飛び散ることがあります。しばらくおいてから湯を注いでください。

1 （ロック解除）を押してロックを解除する



▶ ロック解除ランプが点灯

・ 約2分間ロックが解除され、湯を注ぐことができます。約2分たつと自動的にロックします（ロック解除ランプが消える）。

2 （出湯）を押して注ぐ



●1 杯目の湯はぬるくなることがありますので、コーヒーをドリップする場合は出始めの湯は使わないようにしてください。

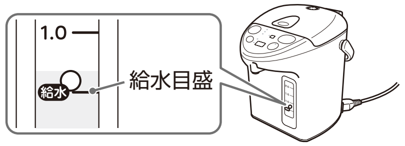
注ぎ終わってすぐロックしたいとき

●ロック解除キーを押してロックする



湯量が少なくなったとき

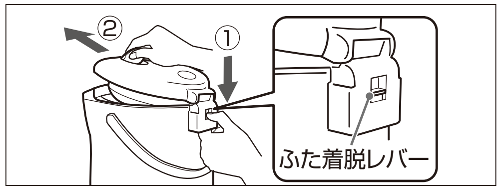
●湯の量が給水目盛まで減る前に水をつぎたす



・ 湯量が少ないまま保温していると沸とうに切り換わることがあります。

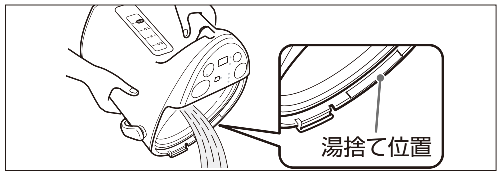
お使いにならないとき

1 コードセットをはずし、冷えてからふたをはずす



●ふた開閉レバーを持ってふたを開き、①ふた着脱レバーを押しながら②注ぎ口方向に引き抜いてください。

2 湯捨て位置から残り湯を捨てる



●操作部側から残り湯を捨てないでください。

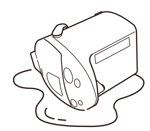
●ふたの取り付けは **1** の逆の手順で行ってください。

⚠ 警告

禁止

ポットを転倒させたり、傾けない
ゆすったり、抱きかかえたり、強い振動（特に上下の振動）や衝撃を加えない
ふたを持って移動しない

注ぎ口や蒸気口などから湯が流れ出て、やけどをする原因になります。

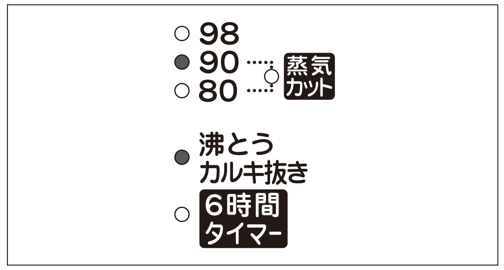


再沸とう / カルキ抜き / タイマー

保温中に湯を再沸とうさせる

給水目盛以上のお湯が入っていることを確認してから

（再沸とう タイマー）を 1 回押す（蒸気カットコースのときは使えません。）



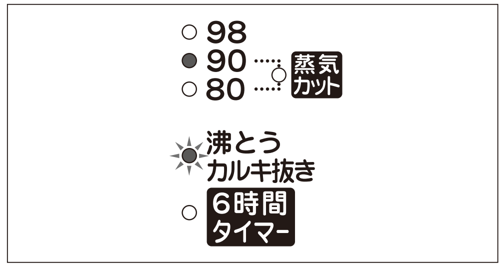
▶ 沸とうランプが点灯

●再沸とうまでの時間（湯量：満水 / 室温：23℃）

・「98」保温：約 2 ～ 7 分
・「90」保温：約 4 ～ 9 分
・「80」保温：約 10 ～ 15 分

カルキ臭を少なくする

（再沸とう タイマー）を 3 秒以上押す（沸とう中に押すとタイマーに 1 回入ります。）



▶ 沸とう / カルキ抜きランプが点滅

・約 3 分間沸とうを続けて、湯のカルキを減らします。

●沸とうに戻すときは

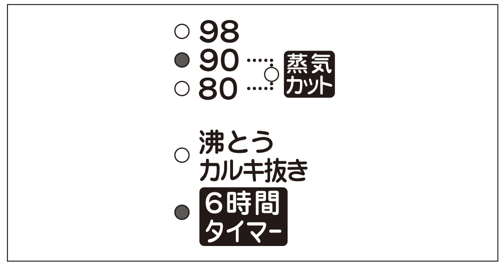
・キーを 1 回押してください。

●再沸とう／カルキ抜きを始めると途中で保温にもどせません。
●蒸気カットコース設定中は「再沸とう / カルキ抜き」が選べません。

タイマーの設定

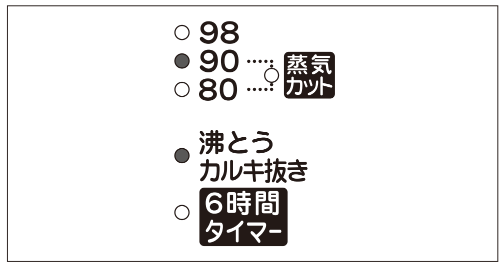
タイマーをセットすると、いったんヒーターへの通電が止まり、6 時間経過すると湯沸かしを開始し選んでおいた保温温度に戻ります。

（再沸とう タイマー）を押してタイマーランプを点灯させる



タイマーを取り消すときは

（再沸とう タイマー）を押す



▶ タイマーランプが消灯

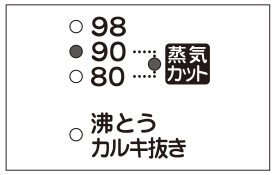
●沸とうに切り換わります。
●蒸気カットコースの場合には沸とうランプは点灯せず、保温になります。

保温温度と蒸気カットの設定

●水を入れてふたを閉め、コードセットが接続されていることを確認する

〔選択 クエン酸洗浄〕を押して保温温度や蒸気カットを選ぶ

●コードセットを接続すると保温温度は「90」が自動的に選択されます。
●押すたびに、保温ランプの点灯位置が右図のように移動します。
●蒸気カットを選択すると保温ランプと一緒に蒸気カットランプが点灯します。
●蒸気カットコース設定中は再沸とうとカルキ抜きが選べません。



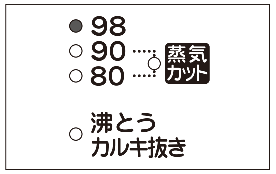
※蒸気カットコース設定でも室温、湿度、容量、気圧により蒸気が発生する場合があります。

保温温度	用途
90	通常保温
80	煎茶など
98	コーヒー・紅茶 カップめんなどに
蒸気カット90	蒸気を出さないで「90」保温になります。
蒸気カット80	蒸気を出さないで「80」保温になります。

※蒸気カットコースは沸とうしません。

保温温度「98」を選んだとき

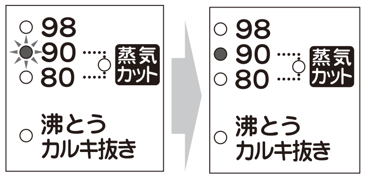
▶ 沸きあがると沸とうランプが消え、「98」保温ランプだけが点灯したままとなります。



●「90」保温を「98」に変えると一度沸とうしてから「98」保温に切り替わります。

保温温度「90」を選んだとき

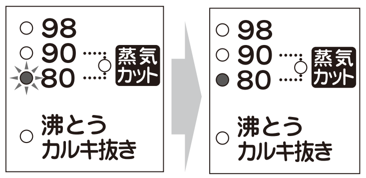
▶ 沸きあがると沸とうランプが消え、「90」ランプが点滅します。



▶ 選んだ保温温度になると「90」ランプが点灯します。

保温温度「80」を選んだとき

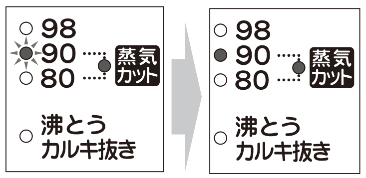
▶ 沸きあがると沸とうランプが消え、「80」ランプが点滅します。



▶ 選んだ保温温度になると「80」ランプが点灯します。

保温温度「90」蒸気カットコースを選んだとき

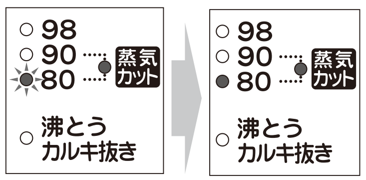
▶ 沸とうする前に沸とうランプが消え、「90」ランプが点滅します。蒸気カットランプは点灯。



▶ 選んだ保温温度になると「90」ランプが点灯します。

保温温度「80」蒸気カットコースを選んだとき

▶ 沸とうする前に沸とうランプが消え、「80」ランプが点滅します。蒸気カットランプは点灯。



▶ 選んだ保温温度になると「80」ランプが点灯します。

（保温温度の設定つづき）

お知らせ

●高地での使用や気圧の変化で沸とう温度が変化します。また、保温温度も変化します〔「98」保温の場合〕。
●室温が高い場合、沸とうしてから設定温度になるまでの時間は長くなります。
●保温温度は保温中でも切り替えることができます。このとき湯温によっては沸とうに入ることがあります。
●アルカリイオン水を使用すると樹脂部が黄変する場合があります。

お願い

●「98」「90」「80」保温設定の場合には、沸きあがり後湯温が下がっている途中で給水をしないでください。沸とうせずに設定温度になることがあります。

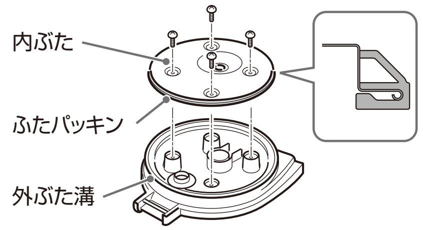
消耗部品について

お買い上げの販売店でお買い求めください。

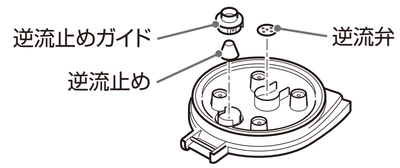
ふたパッキンの交換

キレツが発生したり、汚れや傷みが目についたら、ふたパッキンを取り替えてください。湯もれや蒸気もれの原因になります。

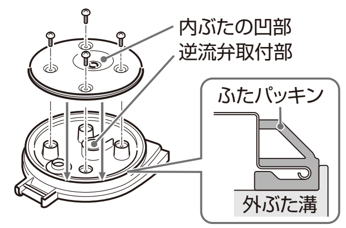
1 ネジ４本をはずし、内ぶたをはずして、ふたパッキンを取り替える



2 逆流止め・逆流弁がはずれた場合は、図の位置にセットする



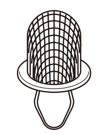
3 内ぶたの凹部と逆流弁取付部を合わせて、内ぶたのふたパッキンの縁を外ぶた溝の内側に確実にはめ込んでから、右図の通りネジで取り付ける



部品名：ふたパッキン　部品コード：3231V094

フィルターの交換

ブラシやクエン酸で洗っても水アカが取れなくなったら取り替えてください。



部品名：フィルター　部品コード：3231V079

お手入れのしかた

⚠警告

ふたや本体は水につけたり、水をかけたりしない
丸洗いしたり、流し台などで底面をぬらしたり、底面がぬれたまま本体をさかさにしたりしない
コードセットは絶対にぬらさない
ショート・感電・故障の原因になります。

水ぬれ禁止

⚠注意

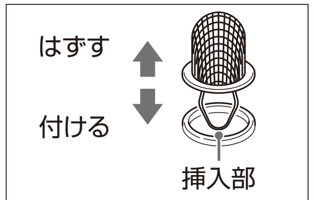
お手入れは冷えてから行う
高温部に触れ、やけどをする原因になります。

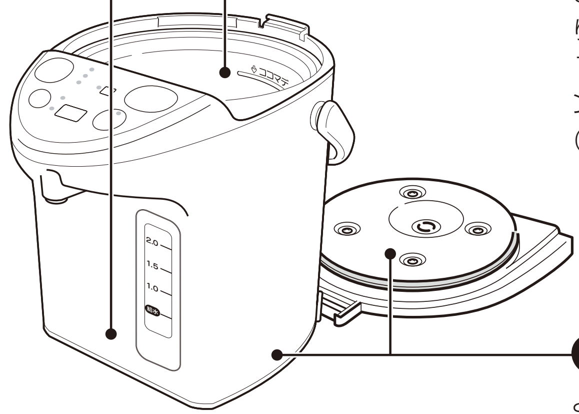
冷えてから行う

日常のお手入れ

フィルター

容器の底に付いています。引き抜いてはずし、ブラシで洗います。
挿入部に付着した水アカもきれいに取り除いてください。
取り付けるときは確実に押し込みます。





容　器

こまめにスポンジでこすり、水ですすぎます。
1～3ヶ月に1回、クエン酸洗浄をします。
（13ページ参照）

本体・ふた

よくしぼったふきんでふきます。

容器の水アカ（変色）や白い浮遊物について

●白い浮遊物（ミネラル分の結晶）●乳白色、黒色、虹色などの変色 ●赤さび状のはん点（もらいさび）●ざらつき

上の例は、加熱することによって水に含まれるミネラル分などが析出し、容器に付着したりする現象で容器自体の変色や腐食、フッ素樹脂のハガレではありません。衛生上問題はありませんが、定期的にクエン酸でお手入れしてください。
＊ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

お願い

- ●ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。
  表面やフッ素樹脂加工をいためます。
- ●食器洗い乾燥機や食器乾燥器を使わないでください。
  変形の原因になります。
- ●洗剤を使わないでください。
  においの原因になります。
- ●容器の汚れ（水アカなど）はこまめにお手入れしてください。
  汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。
- ●長期間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。
- ●汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄を行ってください。

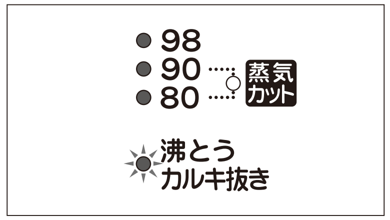
クエン酸洗浄のしかた

1 **容器に満水目盛まで水を入れ、約50gのクエン酸を入れてふたをする**

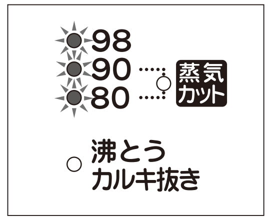
2 **コードセットを接続し、**
選択（クエン酸洗浄）を3秒以上押す

▶ 沸とうランプが点滅に変わり、「98」「90」「80」の保温ランプが点灯
● 洗浄時間　約90分
● クエン酸洗浄終了後はヒーターへの通電が止まります。

洗浄中



終了



▶ 終了すると沸とうランプが消灯し、「98」「90」「80」の保温ランプが点滅します。

3 **コードセットをはずして湯を捨て、容器の汚れをこすり落とし、水ですすぐ**

4 **クエン酸のにおいを取るために、水だけを満水目盛まで入れ保温温度「98」を選んで沸かし、湯を捨てる**（湯の沸かしかた、捨てかたは7～8ページ参照）

お知らせ

クエン酸洗浄が終了してそのままコードセットをはずすと、次回コードセットを接続したときクエン酸洗浄の終了状態を記憶したままとなります。
解除するには 選択（クエン酸洗浄） を押して「90」を選んでください。

洗浄用クエン酸は、東芝製品取扱店でお買い求めください。

部品コード：32389024
100g入り……315円
（税込：2008年9月現在）
※洗浄用クエン酸は、食品添加物につき、食品衛生上無害です。

お願い

- ●クエン酸洗浄の湯は飲まないように注意してください。
- ●当社の保温ポット洗浄用クエン酸以外は使わないでください。
- ●必ず水から洗浄を始めてください。湯は入れないでください。
- ●満水目盛以上の水を入れないでください。

故障かな？と思ったとき

修理を依頼する前に、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと / 処置のしかた
湯が沸かない	● コードセットがはずれていませんか。→コードセットを接続してください。 ● マグネット式プラグに金属片などが付いていませんか。 →電源プラグを抜いてから付着物を取り除いてください。
湯が出ない	● ロック解除ランプが消灯していませんか。 →ロック解除キーを押してロック解除ランプを点灯させてください。 ● プラグがはずれていませんか。→プラグを差し込んでください。

（つづく）

故障かな？と思ったとき（つづき）

このようなとき	お調べいただくこと / 処置のしかた
湯が自然に出る	● 満水目盛以上の水を入れていませんか。→水を減らしてください。
湯がにおう	● 水道水に含まれる消毒用塩素が残っておうことがあります。 →カルキ抜きを繰り返すことにより、減少します。 ● 使い始めは樹脂などのにおいがすることがあります。→ご使用に伴いなくなります。
湯に白いものが浮く 容器が汚れていたり、壁面がはがれたように見える	● 水アカが容器に付着したものが、はがれたものです。 →容器をお手入れしてください。（12 ～ 13 ページ参照） ● ミネラル分の多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがありますが有害ではありません。
湯がぬるい	● 一杯目、特に少量の湯を注いだときは多少ぬるくなることがあります。 ● 保温温度が「90」「80」設定になっていませんか。 →選択／クエン酸洗浄キーでお好みの保温温度を選んでください。 ● タイマー設定になっていませんか。 →再沸とう / タイマーキーを押してタイマーを解除してください。
湯が出にくい	● フィルターが目づまりしていませんか。→フィルターをお手入れしてください。（12ページ参照） ● 沸とう直後は出にくいことがあります。→しばらくおいてから湯を注いでください。
湯沸かし時の音が大きくなる	● 容器底面に水アカが付着したためです。→容器をお手入れしてください。（12～13ページ参照）
本体外側が熱い	● 高温保温を続けるため、室温が高いと本体外側が熱くなりますが、異常ではありません。
ランプが点滅する	● 沸とうランプが点滅する。→カルキ抜き中またはクエン酸洗浄モードです。 ● クエン酸洗浄後であれば容器の水を入れかえて、選択 / クエン酸洗浄キーを押して保温温度を選択して湯沸かししてください。 ● 沸とうランプと「98」「90」「80」の保温ランプが点滅する。 →空だきのお知らせです。水を入れて再沸とう / タイマーキーを押してください。

上記に従って調べていただいても原因が分からないときやその他の異常や故障があるときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※樹脂部品は数年間ご使用いただきますと、傷んでいることがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。

仕様

形名		PLK-22GE	PLK-30GE
電源		交流 100V　50-60Hz 共用	
消費電力（湯沸かし）		900W	900W
出湯方式		電動出湯式	電動出湯式
外形寸法（ハンドルを倒した状態）	幅	21.2cm	21.2cm
	奥行	28.7cm	28.7cm
	高さ	24.5cm	28.1cm
本体質量（コードセットを含む）		約 2.2kg	約 2.3kg
温度過昇防止装置		温度過昇防止器	温度過昇防止器
コードの長さ		1.2m	1.2m
定格容量		2.2L	3.0L
年間消費電力量		409 kWh ／年	487 kWh ／年
1 日当たりの消費電力量		1.12 kWh ／日	1.33 kWh ／日

● 年間消費電力量・1 日当たりの消費電力量：JEMA 自主基準による測定（室温 23℃、湯沸かし 2 回／ 1 日、再沸とう 1 回／ 1 日、保温 90 設定で 23 時間／ 1 日、365 日／年間、その他水量などの試験条件：JEMA 自主基準 HD-112 に基づく）
● 実際にお使いになる時の消費電力量は、季節による周囲温度などの条件により変動する場合があります。
● 特定地域（高い山、極寒地など）においては、所定の性能が確保できないことがあります。

この製品は日本国内用に設計されているため、海外では使用できません。またアフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-76
受付時間：365日　9:00～20:00
携帯電話・PHSなど　022-774-5402（通話料：有料）
FAX　022-224-6801（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から 1 年間です。**
ただし、消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

補修用性能部品の保有期間

● 電気保温ポットの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 5 年です。
● 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

● 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
● 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

● 13 ～ 14 ページに従って調べていただき、なお異常があるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日
	お買い上げ店名	電話（　　　）

長年ご使用の電気保温ポットの点検を！

定期的に「安全上のご注意」「お願い」を確認してご使用ください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。

愛情点検

こんな症状はありませんか。
電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

● ご使用中コードや電源プラグが異常に熱い。
● コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
● いつもより異常に熱くなったりコゲくさいにおいがする。
● 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
● 容器から水がもれる。
● その他の異常・故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

東芝電気保温ポット保証書

持込修理

形名	PLK-22GE, PLK-30GE	
★お客様 お名前	ふりがな	様
★お客様 ご住所	〒□□□-□□□□	
★お客様 電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間 本体	1年	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名 電話	

東芝ホームアプライアンス株式会社　リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-6163

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
   (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、虫害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
   (ニ) 本書のご提示がない場合。
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   (ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。
   (ト) ご使用による容器の汚れ、キズ。
   (チ) 消耗部品の交換。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

修理メモ 修理年月日	修　理　内　容	担当
年　月　日		
年　月　日		

・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社
リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

THT-CLCI (TN)-1